

項目	説明	
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	根治的胃癌術後患者の転帰評価における CONUT スコアの臨床的意義
	研究対象者	2013 年 1 月～2020 年 12 月の期間に、神奈川県立がんセンターで根治的胃切除術を受けた pStage II/III の進行胃癌患者 330 例を対象とした。
	研究目的	周術期の栄養不良は、術後合併症の増加や術後化学療法の継続率の低下、および長期予後と関連することが報告されており、近年栄養に関連した各種バイオマーカーの有用性が注目されている。その中でも、CONUT スコアは日常診療で汎用される栄養指標を総合的に評価したものであり、より簡便かつ正確に患者の栄養状態を層別化できる可能性がある。本研究では、進行胃癌に対し根治的胃切除を施行した患者における CONUT スコアと臨床転帰の関係を検討することを目的とした。
	研究方法	術前の血液検査結果、術前ステージ、手術内容、病理診断、臨床経過等の情報を用い、術前 CONUT スコアを算出し、CONUT レベルに応じて、高 CONUT 群 (≧2) と低 CONUT 群 (0-1) に分け、CONUT スコアと全生存期間 (OS) および無再発生存期間 (RFS) との関連を検討する。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号 (識別コード) で管理します。
	研究期間	西暦 2024 年 10 月 21 日～西暦 2025 年 12 月 31 日
	利用又は提供を開始する時期	[ ] 総長が研究実施を許可した日 [X] 西暦2025年 4 月 頃 (研究の進捗によって前後いたします)
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	[ ] 試料:	[ ] 血漿、[ ] 血清、[ ] 全血、[ ] 末梢血から抽出した DNA、 [ ] 病理検体(具体的に記載: _____)、 [ ] 尿、[ ] 糞便、[ ] 唾液、[ ] 胸水、[ ] 腹水、[ ] 脳脊髄液、 [ ] 毛髪、[ ] その他(具体的に記載: _____)
	[X] 情報:	[X] 診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X] 年齢、[ ] 生年月日、 [X] 性別、[X] 既往歴、[X] 併存疾患、[ ] 外来日・入院日・退院日、[X] 臨床検査値、[ ] 放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[X] 臨床所見・経過 (予後追跡データを含む)、[ ] ゲノムデータ、[ ] 看護記録、 [ ] その他(具体的に記載: _____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	所属・氏名 胃食道外科 田邊美恵
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター消化器外科 胃食道外科 田邊美恵 045(520)2222(代) 利用停止のお申し出は 2024 年 12 月 31 日までをお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	